

令和6年（2024年）10月4日

SAPPORO City of Sapporo

報道機関各社 様

札幌ドーム周辺スポーツ交流拠点の形成に向けて 民間事業者から提案が提出されました

札幌市では、大和ハウス プレミストドームが立地する札幌ドーム周辺地域において、スポーツや集客交流産業の振興などに関わる「スポーツ交流拠点」の形成を目指し、検討を行っているところですが、今般、(株)まちのミライ、HOKの連名により、当該拠点形成に向けた提案の提出がありました。

今後、いただいた提案を参考にしながら、スポーツ交流拠点の形成に向けた本市の方針を検討してまいります。

1 経緯

- | | |
|--------------|--|
| 平成25年10月 | 札幌市の総合計画（札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉）において、札幌ドーム周辺を「高次機能交流拠点」として位置づけ |
| 令和4年1月 | 札幌ドーム周辺地域におけるスポーツ交流拠点基本構想策定 |
| 令和6年2月27日（火） | (株)まちのミライを代表とするグループが札幌ドーム周辺スポーツ交流拠点の形成に向けたサウンディング型市場調査に参加 |
| 令和6年9月30日（月） | (株)まちのミライ、HOKの連名により民設民営のアリーナを活用した札幌ドーム周辺スポーツ交流拠点の形成に向けた民間提案の提出 |

2 提案内容の概要

別紙参照

〔参考〕

別途、令和6年9月6日（金）に社会システムデザイン(株)、前田建設工業(株)の連名によるPFI法第6条に基づく民間提案の提出

【問い合わせ先】

札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課（施設整備担当）担当：酒井、西方
電話：011-211-3077 Mail：sports-shisetsuseibi@city.sapporo.jp

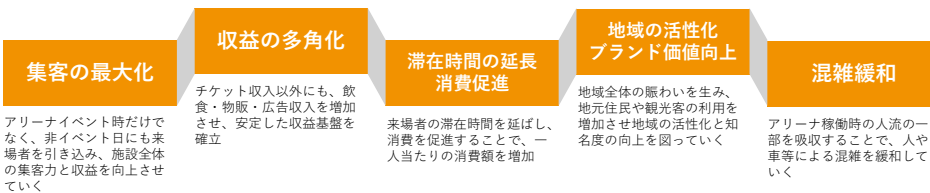
地域課題の解決と共に、札幌の魅力・価値を向上させる他に類を見ない 新たな賑わい拠点へ



●エネルギーSTは記載していません

にぎわい施設

にぎわい施設（商業施設等）は、アリーナ運営における安定した収益源であり、飲食・物販、広告収入など多角的な収益を確保することで来訪者の滞在時間を延ばし、経済効果を最大化します。また、相乗効果により、アリーナの来場者数の増加が見込まれ、周辺地域への大きな経済波及効果が期待されます。



エリアマネジメントの実施

教育・人材育成や健康寿命の延伸に寄与する拠点として、社会課題である未来型人材の育成や医療費の抑制・低減等を目的としたエリアマネジメントを行うと共に、住民参加型まちづくりを挙げていきます。また、SIBの導入も検討し、官民連携による高品質な住民サービスの提供と行政コスト削減を実現していきます。

民設民営による札幌市の負担軽減と効率的な施設運営を実現

スポーツ・コンサート・MICE等に対応したアリーナとにぎわい施設の整備と運営を民間資本で行います。多様な資金調達手法を活用し建設費用を調達し、コンテンツフォルダーを中心とした民間企業による効率的な施設運営を行っていくことで、札幌市の財政負担をアリーナの公共利用枠購入に限定するなど持続的に抑えていきます。また、建設・運営より環境に配慮したカーボンニュートラルにも取り組んでいきます。

エリア価値向上のための手法

「観る」ための施設から、自分にあったスポーツの楽しみ方に出会える機会の提供、スポーツを体験・育成する場、アスリートの発掘・強化やスポーツを支える人材の育成にも注力し、その魅力をさらに高めるエリアへと進化させます。また、商業・文化施設との連携を通じてエリア全体の活性化を図ります。札幌市東部の地理的条件を活かし、バス接続や交通インフラの整備を官民連携で進め、来場者のアクセス利便性を向上させることで、施設集約と拠点性向上により、地域経済とまちの活性化を促進。さらに、交通機関や施設の数値を活用して効率的な人流管理とサービス提供を実現し、利便性と安全性を強化します。さらに、文化・学習施設や保育・医療施設を設置し、教育・健康・福祉の面から地域課題を解決し、持続可能な発展を支えます。また、地域に受け継がれてきた資源を活用し、地域の魅力を引き出しながら、エリア全体の発展を推進します。



防災拠点と再生可能エネルギー等の活用

BCPとGXを両立するモデルは、都市がリスク対応と環境配慮を進めるための戦略として重要です。札幌ドームや多目的アリーナ以外に医療、教育、飲食、宿泊など多様な施設を整備し、災害時のBCP機能を強化。また、自己発電や水素エネルギーを導入し、環境に優しく災害に強い札幌の新たなまちのフラグシップとなる循環型拠点を目指します。

- 水素を活用したエネルギーエリアとして、アリーナやその他施設並びに交通にも供給を想定
- 水素以外の太陽光や雪冷熱も利用予定
- 防災拠点としての機能強化